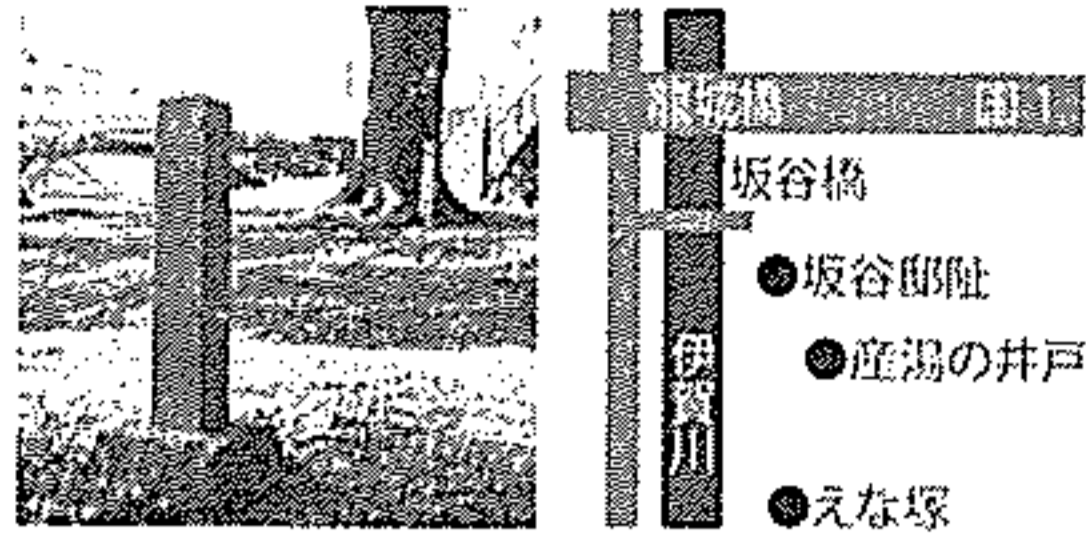


康生いったい

坂谷邸址碑

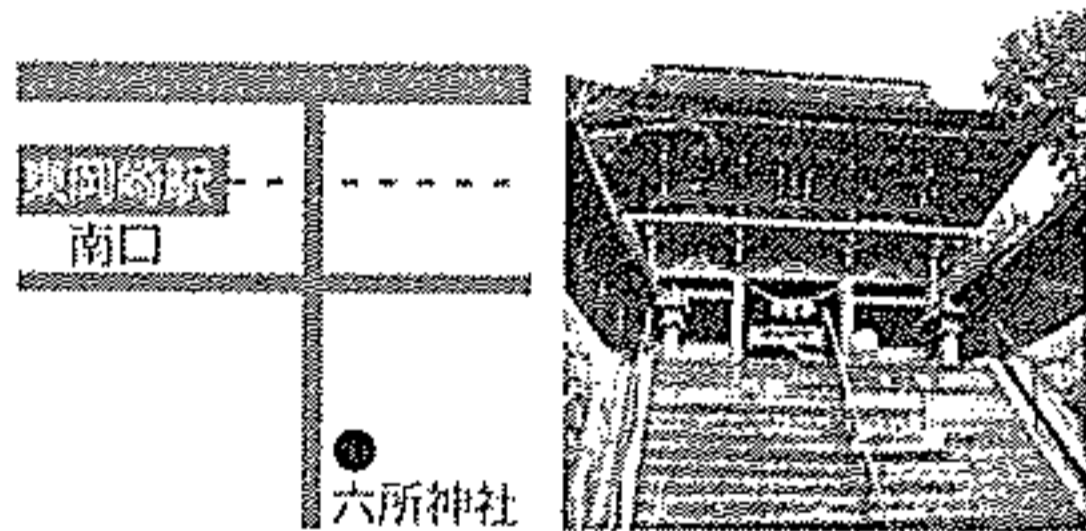


家康公が生まれたのは天守閣と
思っている人は意外に多いが、
この時代にはまだ、岡崎城に
天守閣は存在しませんでした。
実際に生誕した場所は、天守
閣の北西に位置する坂谷の産
屋で、天文11年(1542)12
月26日のことでした。当然、
この「坂谷邸址」には「東照公
産湯の井戸」が隣接し、少し
南に、胎盤等を埋めた「東照
公えな塚」があり、生誕地な
ればこそその記念碑群となっ
ています。

■岡崎市康生町・岡崎公園内

東岡崎駅周辺

六所神社の石段



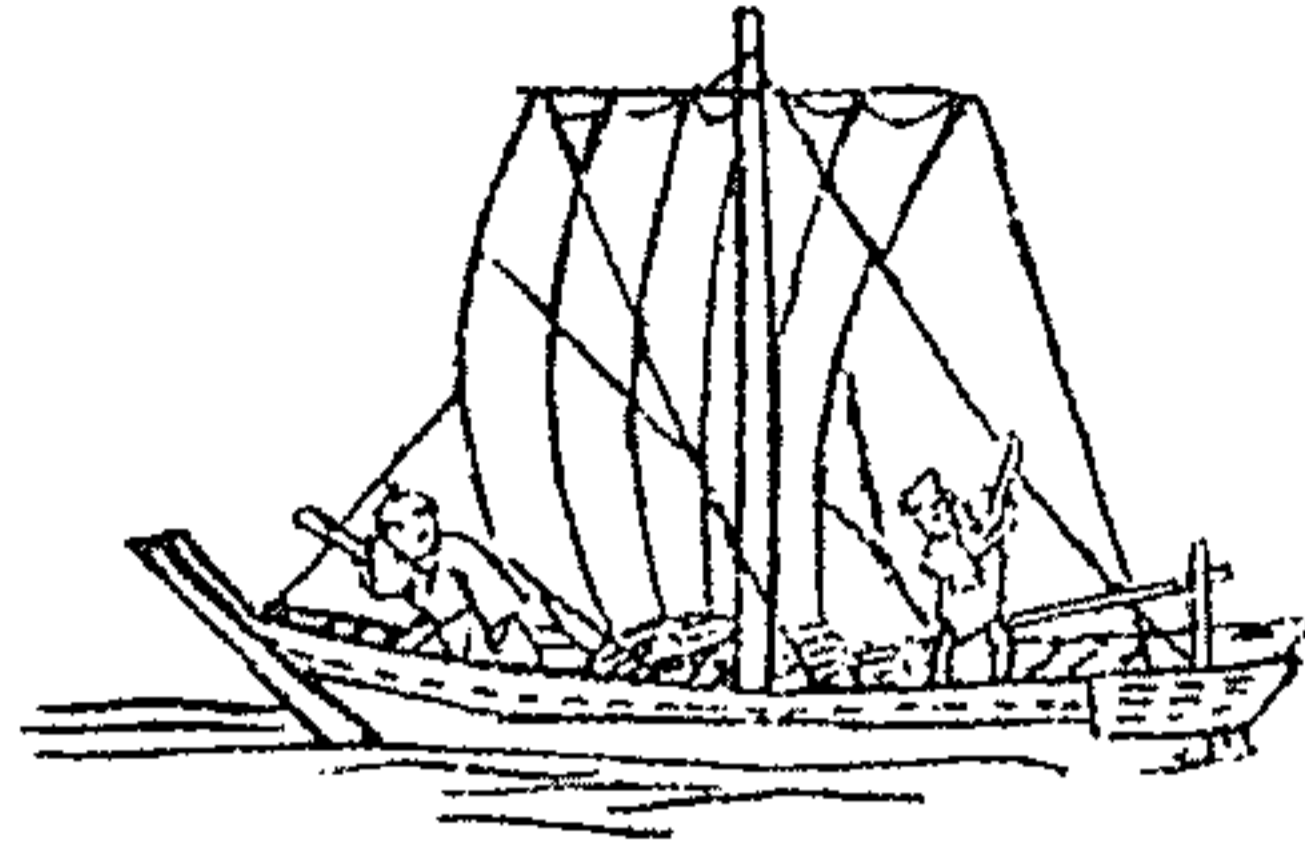
楼門前の石段の数は17段。蹴
上げが高く急傾斜ですが、こ
れは4月17日の家康公の命
日にちなんだもの。5万石以
上の大名しか上ることが許可
されなかった格式高い石段で
す。家康公の産土神である「
お六所さん」は安産の神様。
妊娠5カ月の戌(いぬ)の日
に腹帯を巻く伝統行事「帯
祝い」には、265年の平和
な江戸時代を築き、75歳の
長寿を全うした家康公にあや
かり参拝してください。

■岡崎市明大寺町耳取44

岡崎城下舟遊び

～乙川を観光屋形船が運航～

五万石でも岡崎様は
お城下まで船が着く～



桜まつりの期間中(4月1日～
15日)、乙川を観光屋形船「竹
千代丸」が運航。1日8回、
殿橋の下流から吹矢橋までの
間を、45分かけて往復しま
す。これは江戸時代に、矢作
川河口から岡崎城下まで物資
を運搬した帆掛け船(全長約
20m)にちなみ企画されたも
ので、江戸時代の旦那衆の花
見のように、川面からの景色
が思う存分楽しめます。春の
前売り券は発売直後に売り切
れとなるプラチナチケットな
りました。また、秋の市民祭
り(11月)にも運航する予定
です。今回乗船できなかった
人はお楽しみに。

■発行

電車どおり4商店街

- 本町通三丁目商店街振興組合
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合

■協力

岡崎商工会議所
岡崎市観光協会

■編集協力

おかざき塾

三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」



2007年(平成19年)4月・5月(第9号)

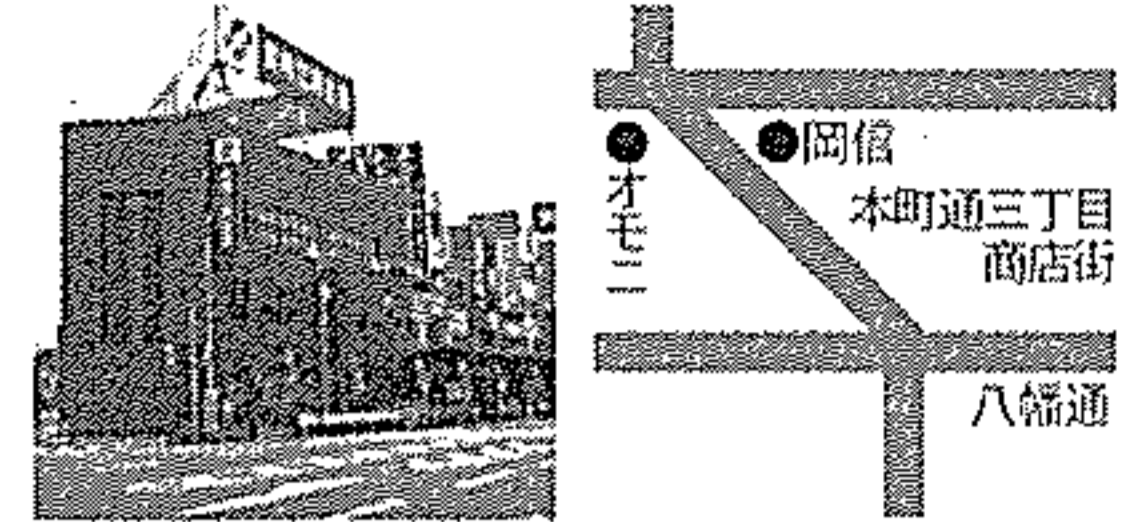
電車どおりの住民が
ご近所のネットワークを活かし
まち歩きを楽しむ
オススメのポイントをご紹介します。

特集・乙川沿いの史跡



本町がいろいろ

岡崎城の外堀

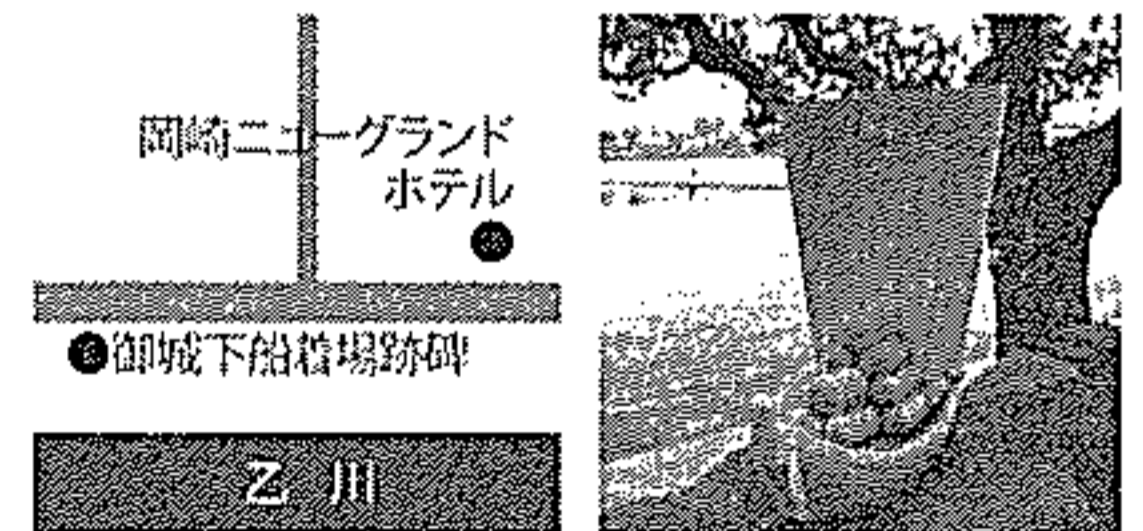


本町通三丁目商店街は岡崎城の外堀の
あった場所にできた商店街です。
乙川から中央緑道と籠田公園の東を
北上し、興蓮寺の手前を西に折れ、
八幡通を抜け、本町通三丁目商店
街を通り、岡信本町支店から再び
西に向かい、美旗公園の北側を通
り抜けていました。韓国宮廷料理
「オモニ」の前には、「信濃門」が
あり、ここから足助を抜け、遠く
信州へ向かう街道が続いていま
した。

■岡崎市本町通3

殿橋のたもと

御城下船着場跡碑



「五万石でも岡崎様は、お城下
まで船が着く」と小唄に唄われ
るように、江戸時代は物資の輸
送はもっぱら船。乙川には土
場(渡場)と呼ばれる川港がいく
つもあり、碑の場所は藩専用
の「御用土場」でした。明代橋
西の唐沢町には「桜の馬場土
場」、東の菅生町には「満性寺
土場」がありました。船は全長
20mほどの平底の帆掛け船
で、矢作川の河口から3日かけ、
荷物を運んできました。

■岡崎公園南の乙川堤防